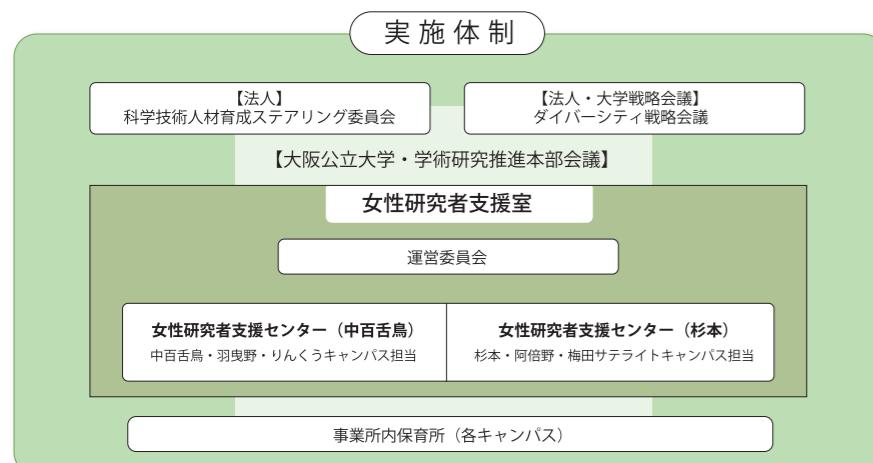


大阪公立大学 女性研究者支援室のあゆみ

大阪公立大学女性研究者支援室は、2022年4月、大阪公立大学の開学とともに誕生しました。大阪府立大学女性研究者支援センター（2010年設立）および大阪市立大学女性研究者支援室（2012年設立）での実績と成果を活かしていきます。

	大阪府立大学	大阪市立大学
2010年	「大阪府立大学における多様な人材活用推進の基本方針」	
	文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」採択	
	女性研究者支援センター開設	
2011年	つばさ保育園（中百舌鳥キャンパス）開園	
	理系女子大学院生チームIRIS発足	
2012年	「女性研究者支援モデル育成」終了	女性研究者支援室開設
2013年	自主事業として女性研究者支援事業を継続 「大阪府立大学男女共同参画宣言」	文部科学省科学人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」採択
2015年	文部科学省科学人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」採択	「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」終了
	「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」の事務局としてダイバーシティ研究環境研究所開設（女性研究者支援センターも継続）	「大阪市立大学男女共同参画推進宣言」 市長表彰「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」優秀賞受賞
	自主事業として女性研究者支援事業を継続 ダイバーシティ推進センター設立 「くるみん」認定	
2016年	初代女性研究者支援センター長の田間泰子教授（現名誉教授）が「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」を受賞	女性副学長着任 文部科学省科学人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」採択
2018年	女性研究者支援事業の事務局を女性研究者支援センターの統一（ダイバーシティ研究環境研究所も継続）	
	女性研究者支援センターが大阪府「憲法記念日知事表彰」を受賞	
	理系女子大学院生チームIRISが「澤柳政太郎記念東北大男女共同参画奨励賞」を受賞	
2020年	「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」終了	
2021年	女性研究者支援室が、大阪府「憲法記念日知事表彰」と、「澤柳政太郎記念東北大男女共同参画賞」を受賞	
	大学統合後の女性研究者支援事業と体制について討議	
2022年	大阪公立大学	
	大阪公立大学女性研究者支援室として事業開始	
	理系女子大学院生チームIRISが大阪府「憲法記念日知事表彰」を受賞	
	「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」終了	
2023年	女性研究者支援室長の真嶋由紀恵教授が大阪府「憲法記念日知事表彰」を受賞	



女性研究者支援事業への ご支援とご協力のお願い

女性研究者支援室では、ご寄附による支援をお願いしています。
いただいたご寄附は、以下のような支援事業に活用します。

【支援内容(予定)】

- 女性研究者の研究力向上、リーダーシップ育成のためのセミナー実施、共同研究助成
- 研究者（男女とも）の両立支援のための研究支援員配置
- 理系女子大学院生チームIRISの活動支援
- その他、大阪公立大学における女性研究者支援事業

【寄附の方法】

「大阪公立大学・高専基金（OMU基金）」より、寄附の目的「9.特定プロジェクトのために」内の「8.女性研究者支援事業の充実のために」をご選択いただき、ご寄附をお願いします。

大阪公立大学・高専基金（OMU基金）
リンク先 <https://www.omu.ac.jp/fund/>



大阪公立大学女性研究者支援室

E-mail gr-knky-wsupport@omu.ac.jp
URL <https://www.omu.ac.jp/r-support/>



女性研究者支援センター（杉本）

〒558-8585
大阪市住吉区杉本3-3-138 1号館1階
TEL. 06-6605-3661

【交通アクセス】

JR阪和線「杉本町駅」（大阪市立大学前駅）下車、東口すぐ
地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口より南西へ徒歩約15分



女性研究者支援センター（中百舌鳥）

〒599-8531
大阪府堺市中区学園町1-1 C4棟
TEL. 072-254-9856

【交通アクセス】

南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約500m、徒歩約6分
南海高野線「中百舌鳥駅」、地下鉄御堂筋線「なかもず駅」下車、南東へ約1,000m、徒歩約13分



大阪公立大学 女性研究者支援室

Support Office for Women Researchers of
Osaka Metropolitan University



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

性別に関わらず、研究者が能力と個性を発揮して、安心して活躍できる大学にしていきます。
大阪公立大学女性研究者支援室では、次の4つを柱にして事業に取り組んでいます。

※印の事業は、性別に関わらずご利用いただけます。

I 女性研究者 採用・上位職登用促進

女性研究者を増やし、大学執行部や教授等の上位職として活躍できるよう、全学で連携して取り組みます。

女性研究者増加のための取組

- 部局長(研究科長、機構長等)との連携など
- 管理職研修(アンコンシャス・バイアス研修など)

女性研究者自らの上位職登用に関する意識啓発、また管理職を対象とした女性研究者の積極登用や管理職育成を目的とした意識改革を醸成するための研修を実施しています。

II 研究力向上・リーダー育成

女性研究者が研究チームのリーダーとして活躍できるよう支援します。

研究費／助成金付与

● RESPECT研究助成

大阪公立大学の教授等の上位職における女性数増加を目的に、女性研究者に競争的インセンティブとして共同研究費を支援することにより、女性研究者が研究チームのリーダーとなる活躍促進を目指します。

上位職の女性研究者育成

● プロモーションメンタープログラム

上位職の女性研究者を育成するため、上位職をメンターとする「プロモーションメンタープログラム」制度を導入しています。

III 研究者育成

女性研究者を増やし、大学執行部や教授等の上位職として活躍できるよう、全学で連携して取り組みます。

女性研究者育成

● 理系女子大学院生チームIRIS

IRIS(アイリス)は次世代の女性研究者・技術者を育成することを目的として結成された理系女子大学院生チームです。地域の身近な理系女性のロールモデルとして活躍し、行政の依頼を受けて大阪府内の小・中・高校生に科学の楽しさや面白さを広める活動を行っています。



女性研究者表彰

● 女性研究者表彰制度【岡村賞】

大阪公立大学において優れた研究・教育活動を行い、意欲的に男女共同参画推進に貢献している女性研究者を表彰することにより、次世代の優秀な女性研究者を育成することを目的としています。



IV 環境整備

大学の推進体制を整えるとともに、研究者がライフイベント(妊娠・出産・育児・介護等)を抱えても、男女問わず活躍できるよう支援します。

研究支援員制度*

妊娠・出産・育児・介護等で研究時間の確保が難しい研究者に対して、研究を補助する支援員を配置します。

意識啓発・改革

- シンポジウム、ロールモデル・セミナー
- 会議は17時までキャンペーン



保育サポート*

- ベビーシッター割引券発行
在宅保育サービス(ベビーシッター等)を利用する際の料金の一部を助成しています。
- 事業所内保育所の設置



相談窓口

- ワーク・ライフ・バランス相談、キャリアアップ相談
- 介護相談*

研究交流会

- 研究発表交流会、女性研究者交流会など



地域とのネットワーク構築

- 南近畿女性研究者支援ネットワーク



協創研究センター ダイバーシティ研究環境研究所

女性研究者支援室と協力して、研究力向上のためのツール開発や、研究者のワーク・ライフ・バランスについての調査研究を行っています。



事業所内保育所

教職員等の仕事・研究と育児の両立を支援するため、大阪公立大学が事業所内保育所を運営しています。

- つばさ保育園（中百舌鳥キャンパス）
- 杉の子保育園（杉本キャンパス）
- カンナ保育所（附属病院）
- 病児保育室「たんぽぽ」（附属病院）

